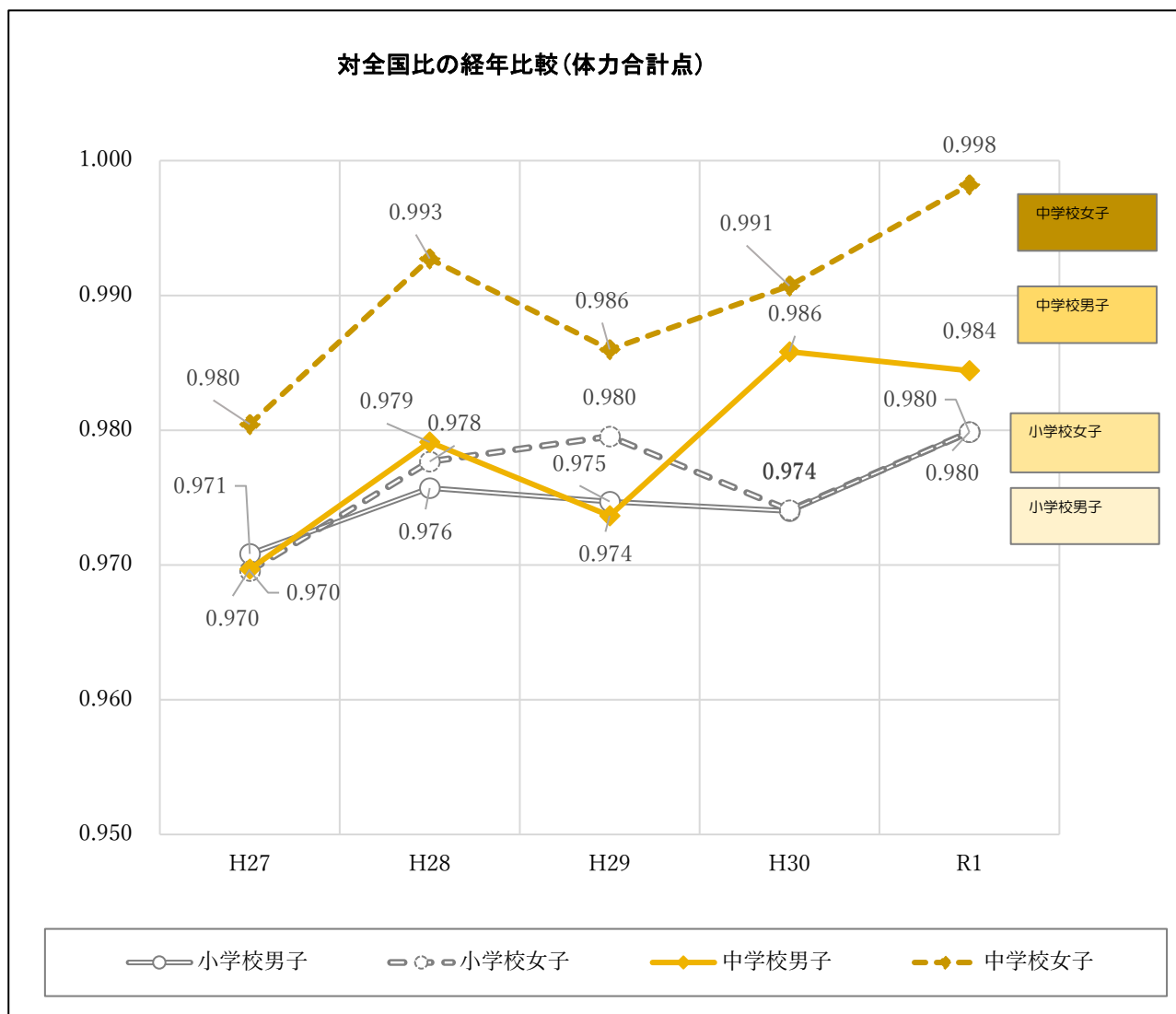


◆体力合計点における対全国比の経年比較

※全国平均を1としたときの大阪市平均の割合を示したものです。

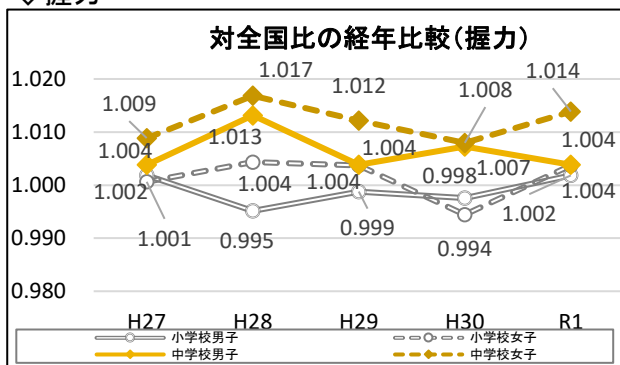


◇前年度との比較において、全国平均との差が、中学校男子では 0.002 ポイント開いているが、小学校男子、小学校女子とも 0.006 ポイント、中学校女子では 0.007 ポイント縮まっている。

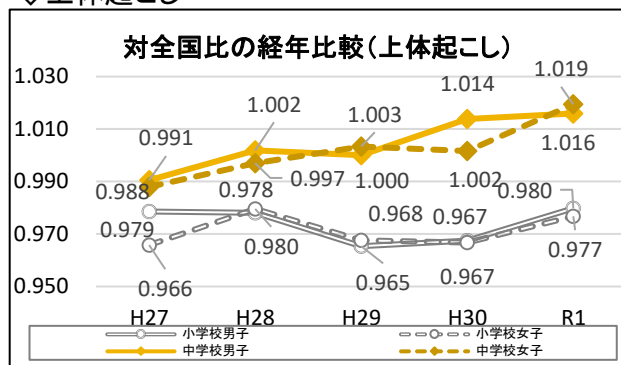
◆対全国比経年比較(各種目ごと)

※全国平均を1としたときの大阪市の割合を示したものです。

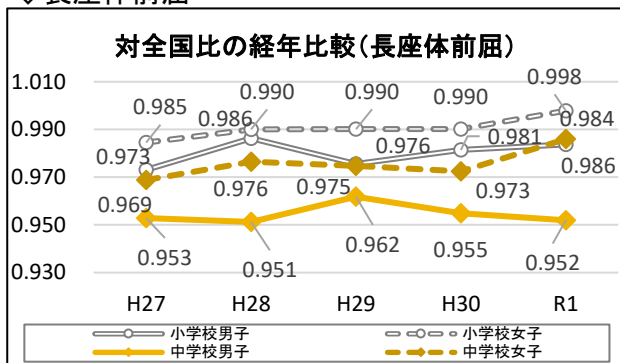
◇握力



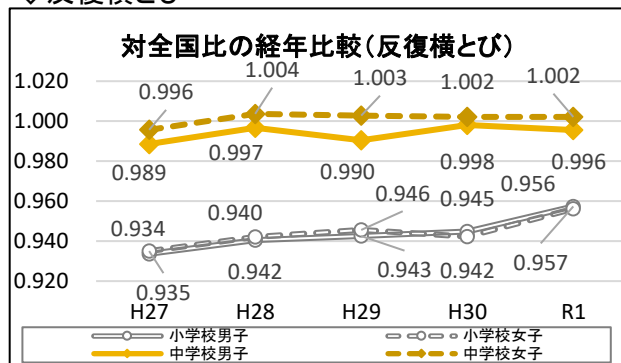
◇上体起こし



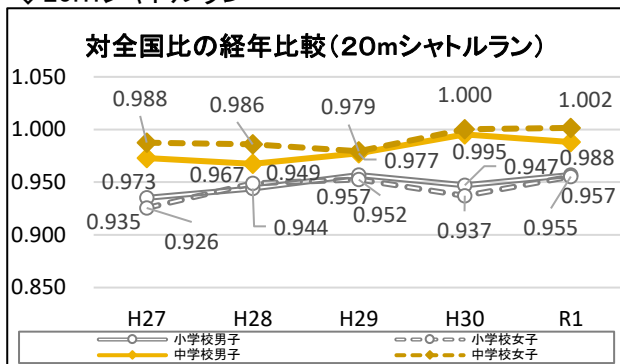
◇長座体前屈



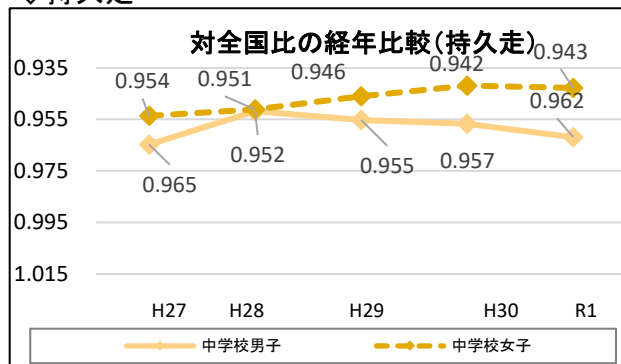
◇反復横とび



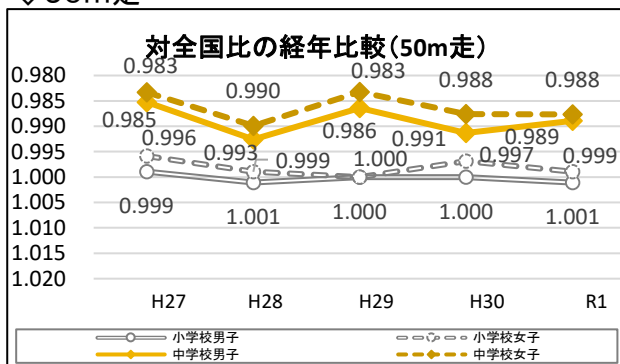
◇20mシャトルラン



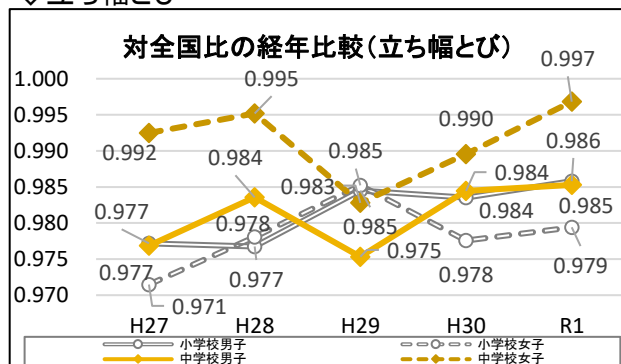
◇持久走



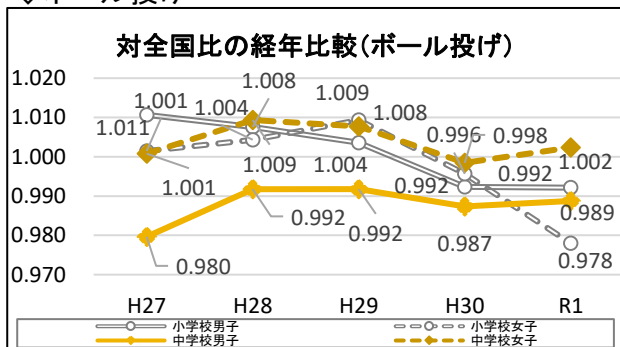
◇50m走



◇立ち幅とび



◇ボール投げ



◇握力は、小・中学校の男女とも全国平均を上回っている。

◇上体起こしは、中学校の男女とも全国平均を大きく上回っている。

小学生の男女とに差が縮まっている

◇長座体前屈は、小学校の男女、中学校の女子は差が縮まっているが、中学校の男子は差が開いている。

◇反復横跳びは、中学校の女子は全国平均を上回り、中学校の男子は若干差が開いた。小学校の男女は差が縮まっている。

◇50m走は、小・中学校の男女とも全国平均前後。

◇20mシャトルランは中学校の女子が全国平均を上回ったが、男子は差が開いている。小学校の男女は差が縮まっている。

◇立ち幅とびは小・中学校の男女とも差が縮まっている。

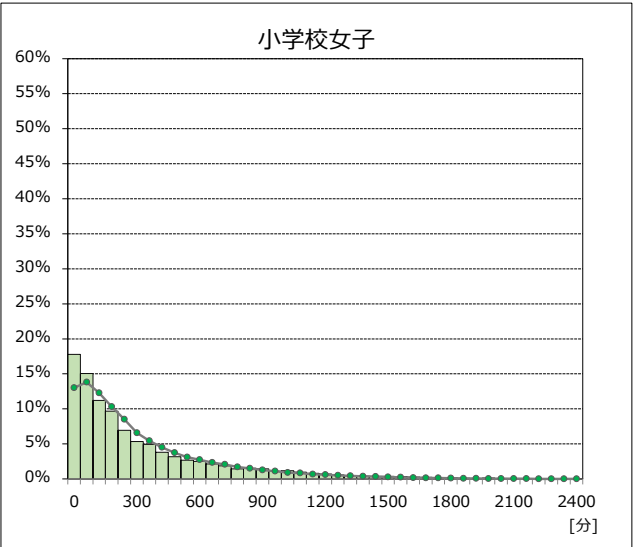
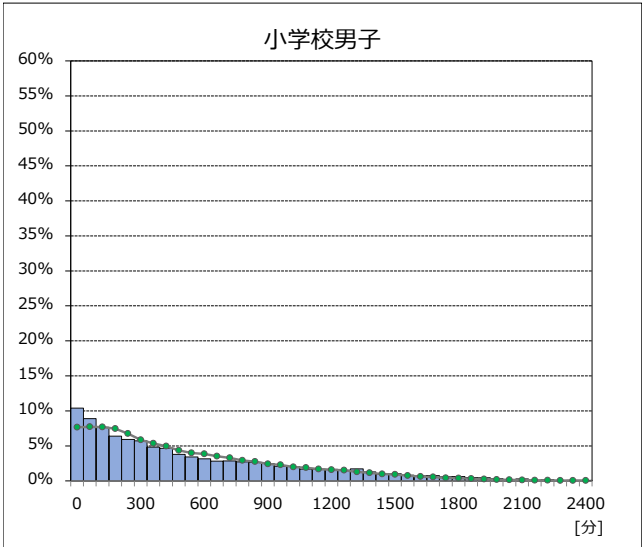
◇ボール投げは、小学校の男女とも差が広がっている。中学校の女子は、全国平均を上回り、男子は差が縮まっている。

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

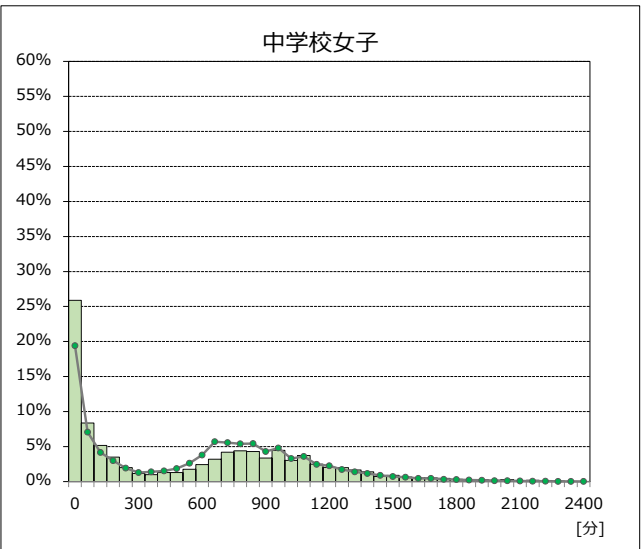
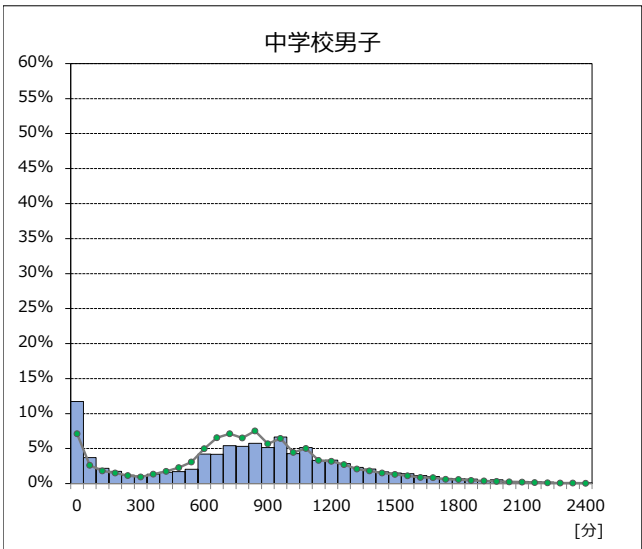
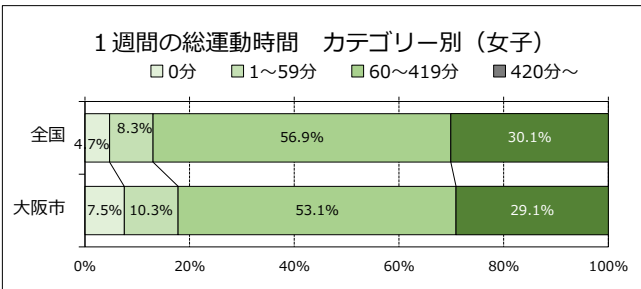
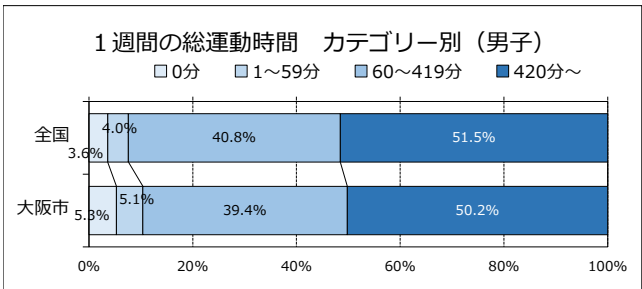
1週間の総運動時間の分布

大阪市教育委員会

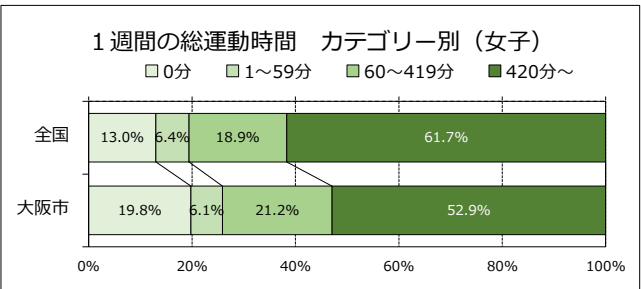
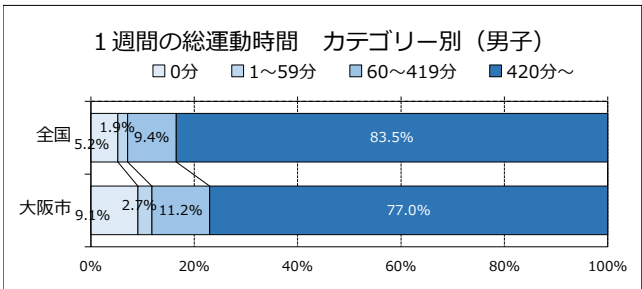
1週間の総運動時間の分布を、横軸を60分の階級、縦軸を割合で表しています。
(0～59分、60～119分、120～179分……、2340～2400分)



※緑色の折れ線グラフは、全国の分布です

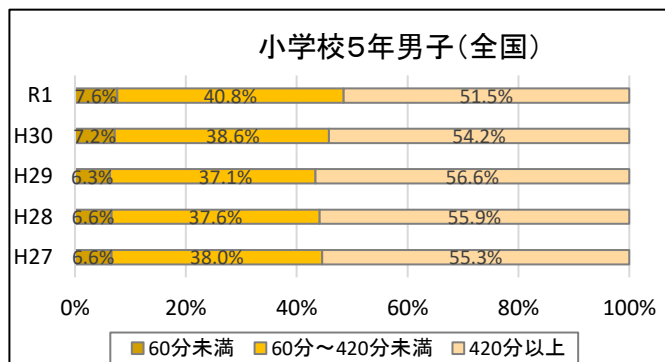
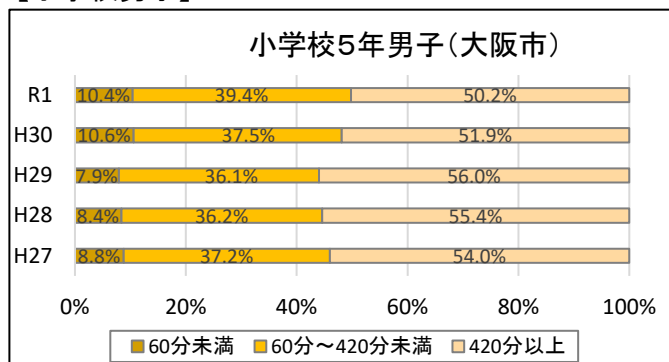


※緑色の折れ線グラフは、全国の分布です

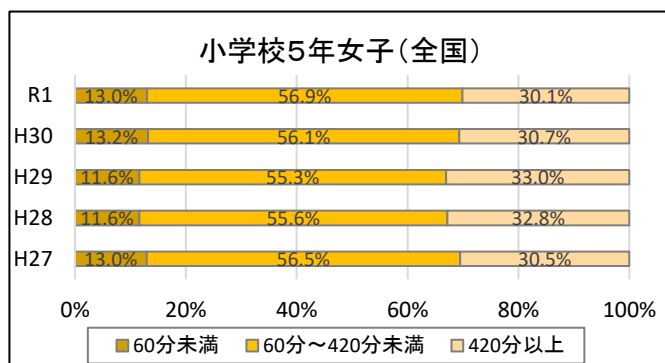
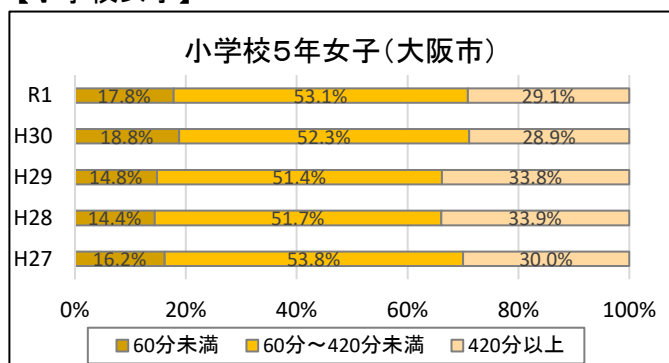


◆1週間の総運動時間経年比較

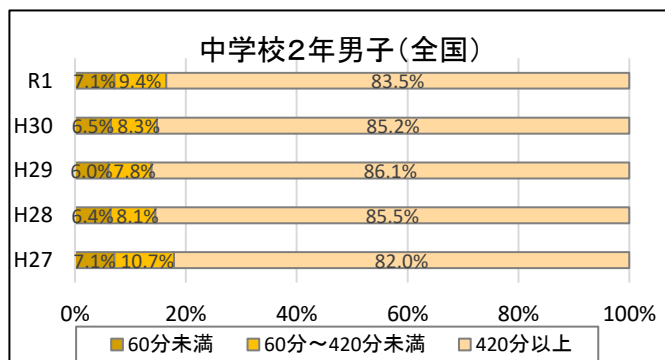
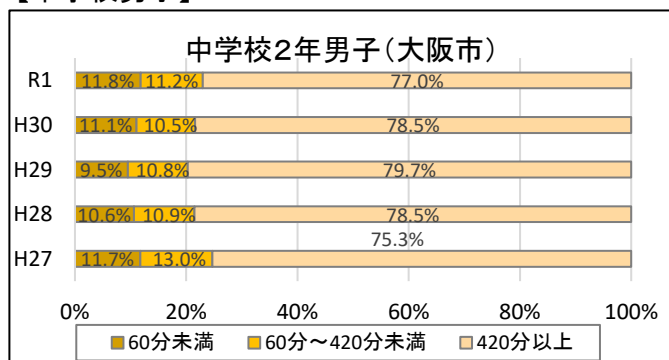
【小学校男子】



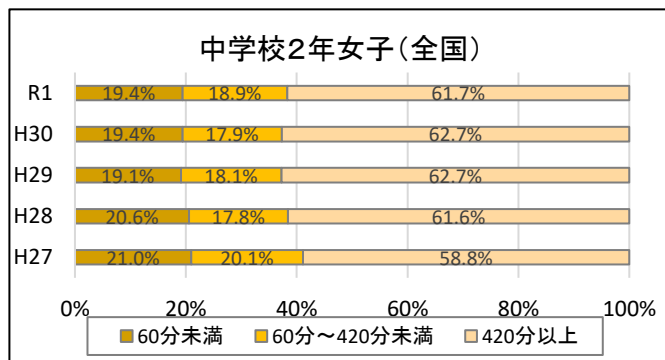
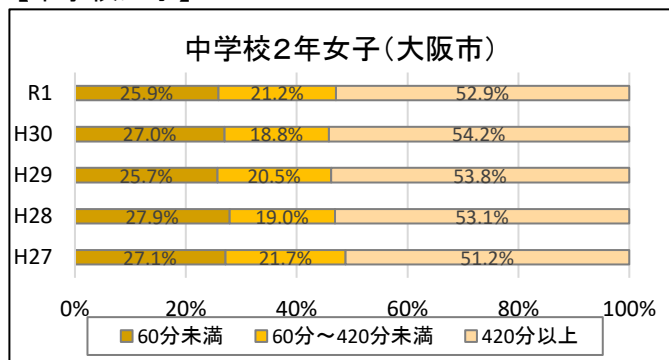
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】



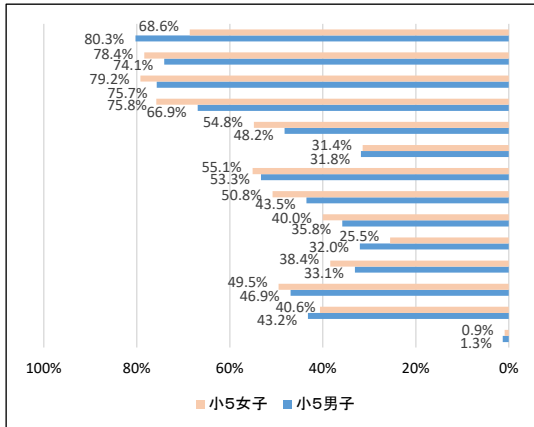
◇1週間の総運動時間において、60分未満の児童・生徒は、中学校男子を除いて昨年度よりも減少した。しかし、小学校男子を除いて420分以上の運動をしている児童・生徒の割合も減少している。全国と比較して、60分未満の児童・生徒の割合は、小・中学校で男女ともに高い。

テーマ分析

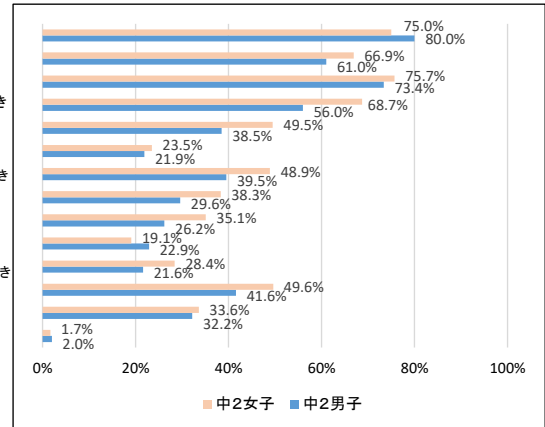
1 「運動が楽しいとき」から考える運動が苦手な児童生徒の特徴

1-1 どのようなときに運動やスポーツが楽しいと感じたかについての男女比較

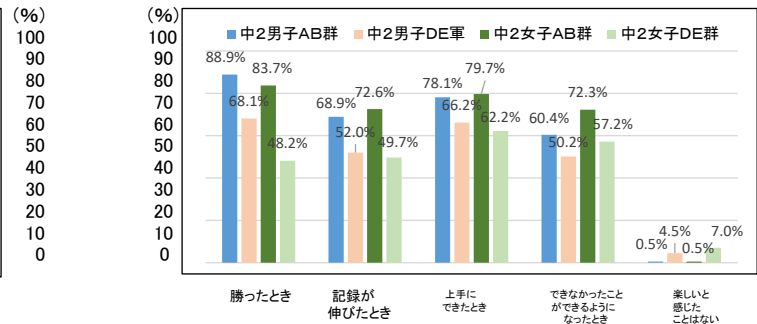
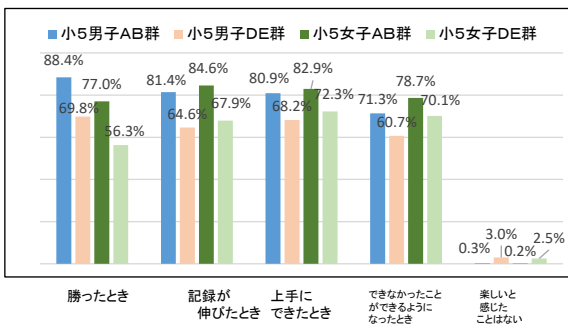
運動やスポーツが楽しいと感じている児童生徒は体力が高く、1週間の総運動時間も多いことが分かっており、運動やスポーツが楽しいと感じる児童生徒を増やすための教育的取組が求められている。今年度の分析結果からは、どんなときに楽しいと感じるかが明らかとなった。特に、勝ったり、上手にできたりすることを通して喜びを味わうことや、他者から褒められたり、仲間と一緒に活動したりするなど、人との関わりを通じた活動が楽しさにつながっている様子がうかがえた。それと同時に、楽しいと感じるときが男女が体力状況によって異なることも明らかになった。こういった知見を参考に、各児童生徒の特徴を踏まえた体育的活動の推進が求められる。



勝ったとき
記録が伸びたとき
上手にできたとき
できなかったことができるようになったとき
教えてもらって、できるようになったとき
教えてもらって、わかったとき
先生や監督・コーチなど大人に褒められたとき
友達に褒められたとき
友達から応援されて活動したとき
上手な人と一緒に活動したとき
一緒に活動している友達が上手にできたとき
仲間と一緒に活動したとき
体を動かしてすっきりしたとき
楽しいと感じたことはない

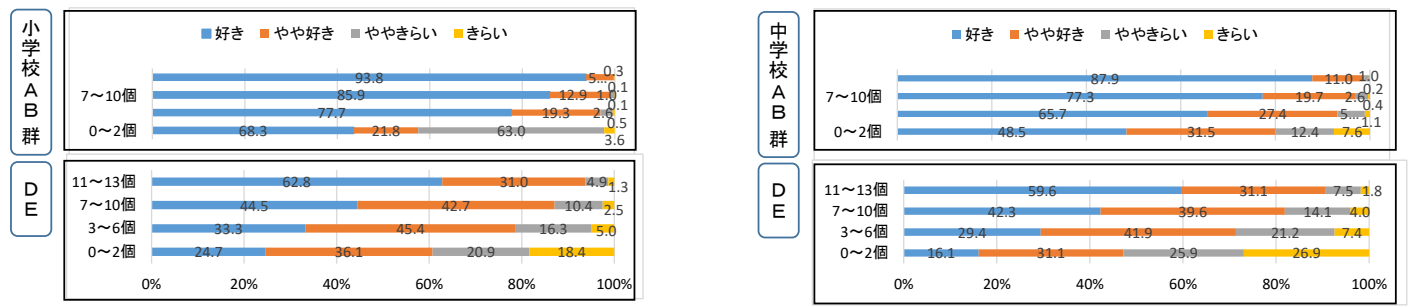


1-2 体力総合評価別に見た「運動やスポーツが楽しいと感じたとき」割合



1-3 「運動やスポーツをすることは好き」と「運動やスポーツを行って楽しいと感じたときの選択数」との関係

体育(保健体育)の授業を楽しいと感じる児童生徒はそうでない児童生徒に比べ、運動やスポーツが楽しいと感じる体験を多くしている傾向が見られた。児童生徒が運動やスポーツに「楽しさを感じる」ことができるよう、体育の授業の中における友達や先生との関わりや、基本となる運動のコツやポイントを教えることを大切にし、「できる」(達成感)を味わうことのできる授業づくりを行っていくことが「運動やスポーツをすることが好き」な児童生徒を増やすことにつながるものと期待できる。



1-4 体力総合評価DE群の「体育(保健体育)の授業は楽しい」割合別に見る「運動やスポーツを行って楽しいと感じたとき」の差の関係

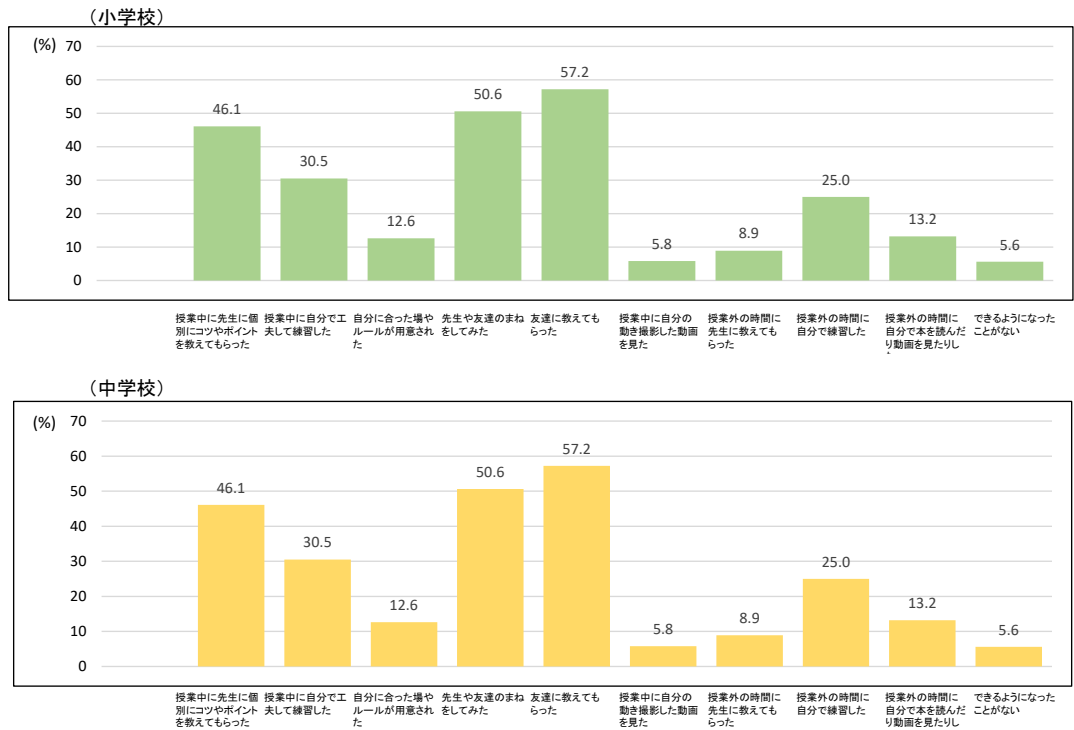
小学校男子	1.勝った	2.記録が伸びた	3.上手にできた	4.できなかったことができた	12.仲間と一緒に活動	14.感じたことはない
楽しい	76.5%	69.9%	74.1%	65.9%	46.8%	0.5%
やや楽しい	65.5%	62.6%	65.9%	58.7%	32.6%	2.1%
あまり楽しくない	50.9%	47.1%	48.5%	43.8%	21.3%	12.0%
楽しくない	34.9%	28.7%	29.3%	25.9%	13.0%	38.1%
楽しい～楽しくない	41.6	41.2	44.8	40.0	33.8	-37.6

小学校女子	1.勝った	2.記録が伸びた	3.上手にできた	4.できなかったことができた	12.仲間と一緒に活動	14.感じたことはない
楽しい	64.8%	73.5%	78.9%	75.5%	51.4%	0.2%
やや楽しい	56.0%	69.6%	74.1%	71.8%	39.9%	0.7%
あまり楽しくない	43.8%	57.8%	60.6%	60.4%	27.4%	5.2%
楽しくない	29.6%	37.3%	38.2%	39.5%	17.5%	28.1%
楽しい～楽しくない	35.2	36.2	40.7	36.0	33.9	-27.9

中学校男子	1.勝った	2.記録が伸びた	3.上手にできた	4.できなかったことができた	12.仲間と一緒に活動	14.感じたことはない
楽しい	79.1%	59.9%	74.0%	57.2%	40.2%	0.8%
やや楽しい	67.1%	52.5%	67.2%	50.8%	27.7%	2.2%
あまり楽しくない	51.5%	38.8%	52.1%	38.1%	18.1%	11.1%
楽しくない	36.7%	23.1%	33.8%	22.9%	12.0%	35.9%
楽しい～楽しくない	42.4	36.8	40.2	34.3	28.2	-35.1

中学校女子	1.勝った	2.記録が伸びた	3.上手にできた	4.できなかったことができた	12.仲間と一緒に活動	14.感じたことはない
楽しい	63.8%	62.0%	72.9%	65.8%	42.6%	0.8%
やや楽しい	53.3%	55.5%	68.7%	63.3%	32.5%	1.7%
あまり楽しくない	39.5%	43.1%	56.1%	52.6%	23.6%	8.0%
楽しくない	24.9%	23.2%	32.7%	29.2%	14.0%	37.0%
楽しい～楽しくない	38.9	38.8	40.2	36.6	28.6	-36.2

1-5 体力総合評価DE群の児童生徒が体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ



2 運動が苦手な児童生徒でも運動やスポーツが楽しいと感じる授業の取組について

2-1 取組の有無(質問13～16,18,19)と質問2「運動やスポーツを行って楽しいと感じたとき」の平均選択数

体育(保健体育)の授業における取組の有無によって、運動の苦手な児童生徒だけでなく、運動が得意な児童生徒においても、運動をする楽しさの感じ方に差が生まれ、取組の実施が子供たちの楽しさにつながる事が期待できる。さらに、その差が顕著であった友達と関わる(助け合う・役割を果たす)活動を取り入れた場合、自己の成長や先生・友達との関わりの中に運動やスポーツの楽しさを見出す児童生徒が多くなる傾向が見られ

小学校		Q13体育授業では、授業の始めに授業の目標が示されていますか	Q14体育授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか	Q15体育授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか	Q16体育授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか	Q18体育授業で、ビデオ・デジタルカメラ、タブレット端末などを用いて、自分や友達の動きを撮影して活用する活動を行っていますか	Q19体育授業で、自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動することを行っていますか
A B 群	行っている/示されている	8.0%	8.1%	8.2%	8.1%	8.1%	8.2%
	行っていない/示されていない	6.5%	6.8%	5.3%	6.1%	7.5%	6.8%
	取組の有無の差	1.5	1.3	2.9	2.0	0.6	1.4
D E 群	行っている/示されている	6.2%	6.3%	6.7%	6.5%	6.3%	6.6%
	行っていない/示されていない	4.4%	4.8%	3.5%	3.9%	5.6%	4.7%
	取組の有無の差	1.8	1.5	3.2	2.6	0.7	1.9

中学校		Q13保健体育授業では、授業の始めに授業の目標が示されていますか	Q14保健体育授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか	Q15保健体育授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか	Q16保健体育授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか	Q18保健体育授業で、ビデオ・デジタルカメラ、タブレット端末などを用いて、自分や友達の動きを撮影して活用する活動を行っていますか	Q19保健体育授業で、自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動することを行っていますか
A B 群	行っている/示されている	6.8%	6.8%	7.0%	7.0%	6.9%	7.1%
	行っていない/示されていない	5.7%	5.9%	4.7%	5.4%	6.5%	6.0%
	取組の有無の差	1.1	0.9	2.3	1.6	0.4	1.1
D E 群	行っている/示されている	4.7%	4.8%	5.1%	5.1%	4.9%	5.2%
	行っていない/示されていない	3.3%	3.6%	2.5%	3.0%	4.4%	3.6%
	取組の有無の差	1.4	1.2	2.6	2.1	0.5	1.6

2-2 「楽しいとき」×「授業の取組」における体力総合評価AB群、DE群の取組の差(質問15)

小学校男子		勝った	記録が伸びた	上手にできた	できなかったことができた	教えてもらいできた	教えてもらいよかった	大人に褒められた	友達に褒められた	応援されて活動	上手な人と一緒に活動	友達が上手にできた	仲間と一緒に活動	体を動かすにすっきりした	感じたことはない
A B 群	行っている	90.3%	84.2%	83.9%	75.2%	58.9%	41.8%	69.0%	55.7%	49.9%	47.2%	46.3%	59.8%	54.2%	0.1%
	行っていない	78.1%	63.3%	62.4%	50.6%	35.8%	21.7%	43.2%	28.1%	23.9%	25.0%	21.1%	30.4%	33.7%	4.1%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	12.2	20.9	21.5	24.6	23.1	20.1	25.8	27.6	26.0	22.2	25.2	29.4	20.5	-0.4
D E 群	行っている	75.8%	71.2%	74.8%	67.5%	49.6%	33.7%	50.0%	45.8%	37.5%	29.4%	34.4%	49.6%	43.4%	0.9%
	行っていない	52.4%	42.3%	44.7%	39.1%	24.2%	15.0%	22.7%	18.2%	13.8%	11.5%	11.5%	19.7%	22.4%	17.6%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	23.4	28.9	30.1	28.4	25.4	18.7	27.3	27.6	23.7	17.9	22.9	29.9	21.0	-16.7

小学校女子		勝った	記録が伸びた	上手にできた	できなかったことができた	教えてもらいできた	教えてもらいよかった	大人に褒められた	友達に褒められた	応援されて活動	上手な人と一緒に活動	友達が上手にできた	仲間と一緒に活動	体を動かすにすっきりした	感じたことはない
A B 群	行っている	79.8%	86.9%	85.4%	81.6%	62.8%	39.1%	67.3%	60.1%	52.1%	37.4%	49.2%	60.8%	52.0%	0.1%
	行っていない	64.3%	70.0%	68.5%	60.3%	39.6%	20.2%	43.7%	35.0%	26.1%	20.3%	24.5%	34.0%	34.7%	5.4%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	15.5	16.9	16.9	21.3	23.2	18.9	23.6	25.1	26.0	17.1	24.7	26.8	17.3	-5.3
D E 群	行っている	62.1%	73.4%	77.6%	75.7%	55.8%	32.6%	51.5%	52.2%	40.5%	21.8%	39.0%	50.1%	36.9%	0.8%
	行っていない	39.4%	45.7%	49.4%	46.9%	30.9%	17.9%	25.9%	24.8%	16.9%	11.0%	15.5%	22.3%	20.2%	17.3%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	22.7	27.7	28.2	28.8	24.9	14.7	25.6	27.4	23.6	10.8	23.5	27.8	16.7	-16.5

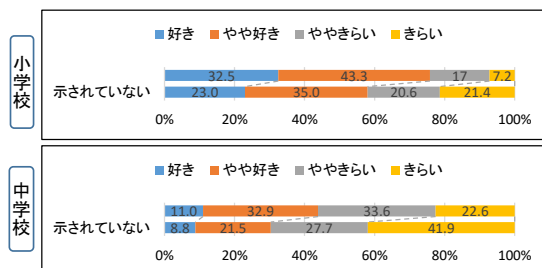
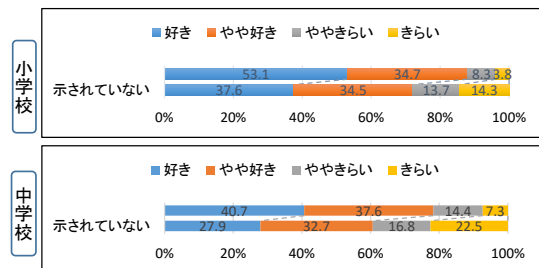
中学校男子		勝った	記録が伸びた	上手にできた	できなかったことができた	教えてもらいできた	教えてもらいよかった	大人に褒められた	友達に褒められた	応援されて活動	上手な人と一緒に活動	友達が上手にできた	仲間と一緒に活動	体を動かしやすかった	感じたことはない
A B 群	行っている	90.9%	71.5%	80.5%	63.8%	46.8%	28.9%	50.9%	38.3%	38.7%	35.1%	31.9%	51.9%	41.4%	0.2%
	行っていない	76.3%	51.8%	60.8%	42.2%	28.9%	17.4%	32.0%	22.1%	21.4%	21.6%	13.9%	28.3%	26.5%	7.5%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	14.6	19.7	19.7	21.6	17.9	11.5	18.9	16.2	17.3	13.5	18.0	23.6	14.9	-7.3
D E 群	行っている	74.0%	56.7%	71.4%	55.5%	38.9%	22.0%	36.1%	29.6%	23.5%	18.0%	20.2%	41.1%	29.4%	2.3%
	行っていない	44.9%	32.0%	41.1%	27.8%	18.1%	9.8%	15.0%	11.5%	8.0%	7.1%	6.5%	16.7%	16.8%	25.4%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	29.1	24.7	30.3	27.7	20.8	12.2	21.1	18.1	15	10.9	13.7	24.4	12.6	-23.7

中学校女子		勝った	記録が伸びた	上手にできた	できなかったことができた	教えてもらいできた	教えてもらいよかった	大人に褒められた	友達に褒められた	応援されて活動	上手な人と一緒に活動	友達が上手にできた	仲間と一緒に活動	体を動かすにすっきりした	感じたことはない
A B 群	行っている	86.0%	74.8%	81.8%	75.2%	56.8%	29.0%	59.5%	45.2%	44.7%	27.2%	36.0%	59.2%	41.1%	0.2%
	行っていない	69.1%	59.4%	64.6%	54.7%	35.0%	17.6%	42.0%	29.1%	25.5%	18.0%	17.5%	34.7%	29.3%	7.3%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	16.9	15.4	17.2	20.5	21.8	11.4	17.5	16.1	19.2	9.2	18.5	24.5	11.8	-7.1
D E 群	行っている	53.9%	55.0%	67.7%	63.1%	45.5%	20.8%	34.8%	33.7%	26.8%	8.9%	25.2%	42.0%	23.9%	3.9%
	行っていない	29.4%	28.7%	37.0%	32.3%	21.3%	10.6%	17.9%	17.3%	11.8%	5.1%	9.3%	17.6%	13.6%	32.9%
	「行っている」と「行っていない」の有無の差	24.5	26.3	30.7	30.8	24.2	10.2	16.9	16.4	15.0	3.8	15.9	24.4	10.3	-29.0

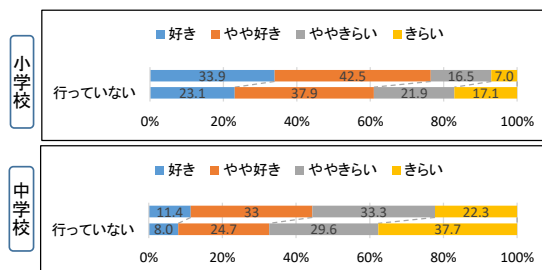
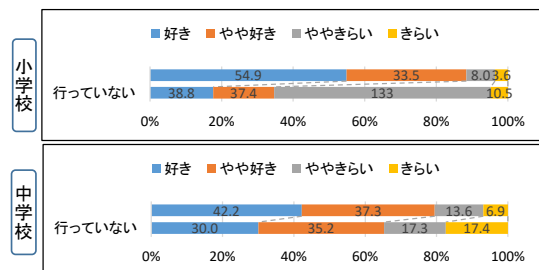
2-3 体力総合評価DE群児童生徒における「運動やスポーツが好き」と「授業の取組」のクロス集計

授業において工夫された取組を行うなど指導内容を充実させることで運動が苦手の児童生徒の意識に差が生まれる傾向が見られた。児童生徒の特性に合わせた場の整備や、子供たちが主体的・対話的な学びを享受できるような「促し」が、授業において一層取り組まれることを期待する。

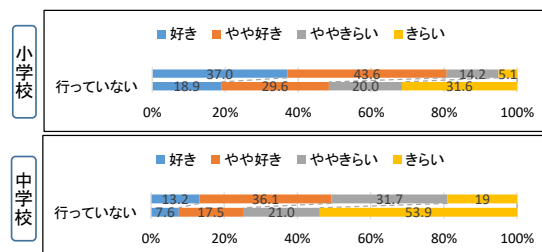
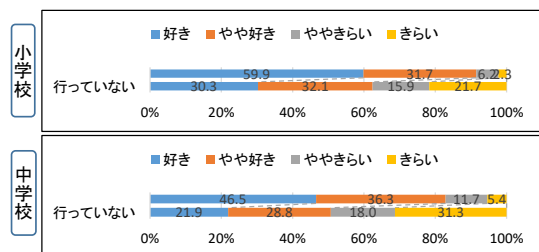
「授業の目標設定」×「運動やスポーツをすることは好き」



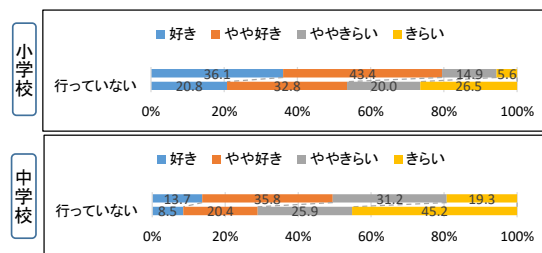
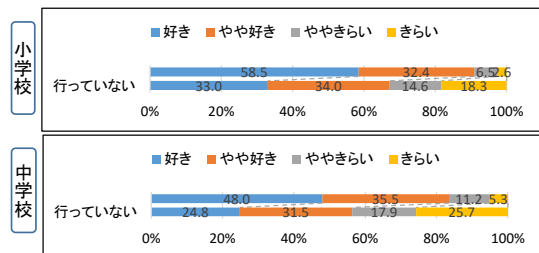
「授業の振り返り」×「運動やスポーツをすることは好き」



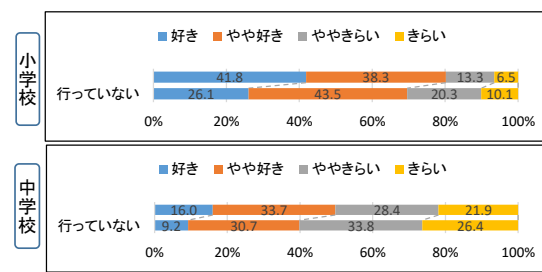
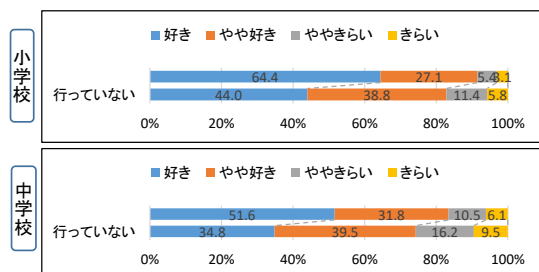
「授業での助け合い、役割を果たす活動」×「運動やスポーツをすることは好き」



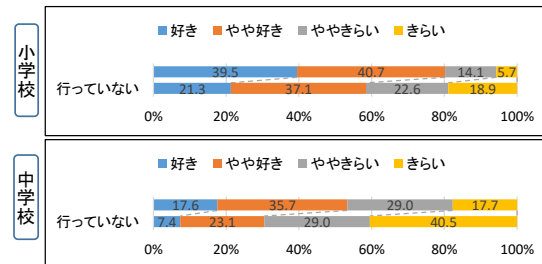
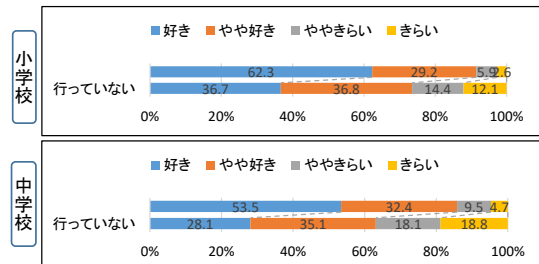
「授業での話し合い」×「運動やスポーツをすることは好き」



「授業でのICT活用」×「運動やスポーツをすることは好き」



「授業での練習や場の工夫」×「運動やスポーツをすることは好き」

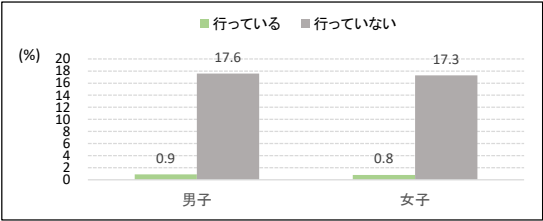


2-4 体力総合評価DE群における「楽しいと感じたことがない」児童生徒と体育(保健体育)の授業で「助け合う、役割を果たす」取組に関する比較

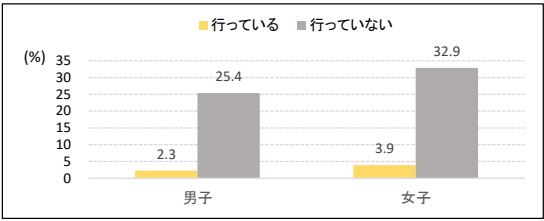
体育(保健体育)の授業において、友達と助け合ったり、役割を果たす活動や、友達同士で話し合う活動を行うことが、運動が苦手な児童生徒が運動を楽しんでいるための配慮として効果的であることが示されている。さらに、授業の目標が示すこと、振り返りの活動を行うこと、練習の場を選択することなども有効であることが読み取れる。新学習指導要領の趣旨を踏まえ、単元などのまとまりの中で、子供たちにとって必然性の感じられる活動を盛り込み、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことは、運動が苦手な子供たちにとっても、運動やスポーツの楽しさを味わうことができる魅力的な授業づくりにつながる

「楽しいと感じたことがない」×「授業での助け合い、役割を果たす活動」

(小学校)



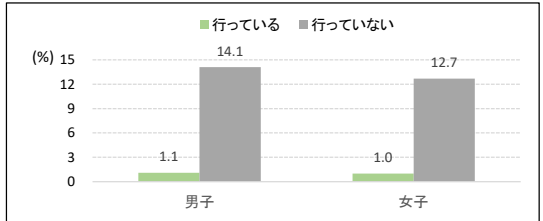
(中学校)



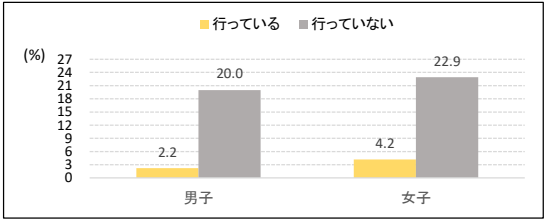
2-5 体力総合評価DE群における「楽しいと感じたことがない」児童生徒と体育(保健体育)の授業で「話し合う」取組に関する比較

「楽しいと感じたことがない」×「授業での話し合い」

(小学校)



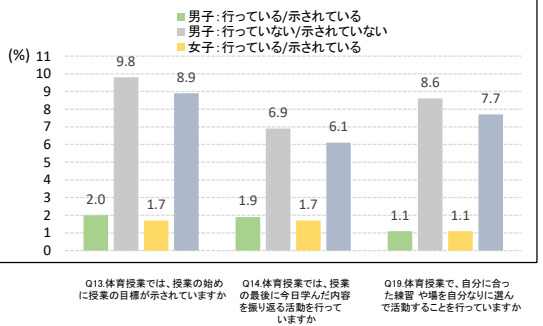
(中学校)



2-6 体力総合評価DE群における「楽しいと感じたことがない」児童生徒と体育(保健体育)の授業におけるその他の取組に関する比較

「楽しいと感じたことがない」×「授業の目標設定」「授業の振り返り」「授業での練習や場の工夫」

(小学校)



(中学校)

